



令和元年9月5日
海上保安庁

歴史的に貴重な世界地図を初展示！ ～ 水路記念日特別展を開催します ～

9月12日の水路記念日^{※1}にあわせ、9月9日から11月29日までの間、海上保安庁が所蔵する歴史的に貴重な古地図(世界地図)を海洋情報資料館^{※2}で特別展示します。

今回、水路記念日にあわせ、以下の3点を特別展示いたします。

- ① 1569年にメルカトルが作製した世界地図
 - ② 1513年にピーリー・レイスが作製した地図
 - ③ 1856年ドイツで作製された世界地図
- } 初展示
※展示品については
別紙1参照

1 特別展示期間

令和元年9月9日(月)から11月29日(金)まで
(火、木、土を除く)午前10時から午後5時(入場無料)

2 場所

青海合同庁舎1階 海洋情報資料館・海の相談室(別紙2参照)

※1：水路記念日について

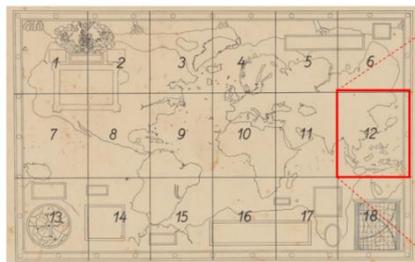
明治4年(西暦1871年)9月12日(旧暦7月28日)に兵部省海軍部に水路局(後の水路部、現在の海洋情報部)が置かれたことを記念する日。この水路局設置により我が国の本格的な海図作製が始まり、今年で148年目となります。

※2：海洋情報資料館

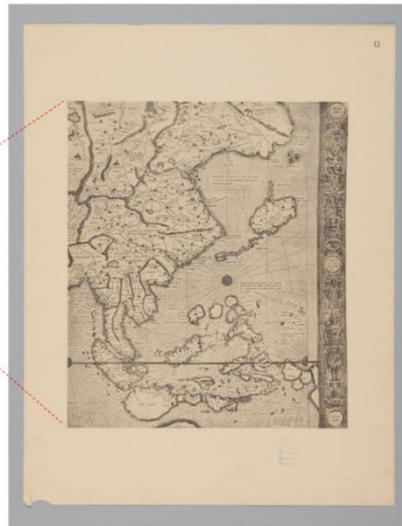
特別展示のほか、伊能図や歴史的な測量機器など、海洋調査等に関する貴重な歴史資料を常設展示しています。

① 1569年ゲラルドゥス・メルカトルが作製した世界地図（MERCATORS CHART OF 1569） ※初展示

- ・ 国際水路局（IHB：現国際水路機関（IHO）の前身）による複製品
- ・ 本図は 18 図 1 組からなる 1569 年のメルカトル海図（世界地図）
- ・ 1 図の大きさ 50×65cm（縦長）、全体の大きさ 2×3m（横長）
- ・ 本図は、1889 年バーゼル図書館で発見されたものを IHB が複製し加盟国に配布したもの



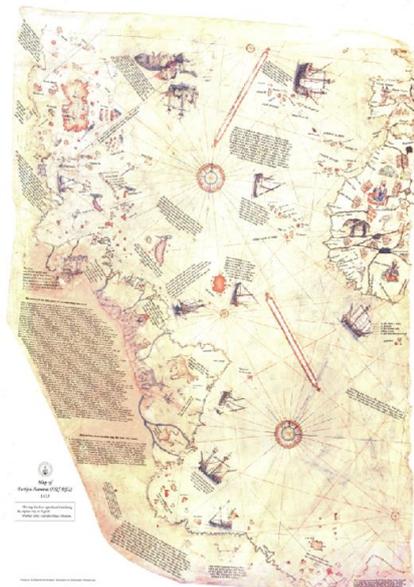
世界地図の全体構成



No.12 日本周辺

② 1513年オスマントルコのピーリー・レイスが作製した地図 ※初展示

- ・ 本図は 1929 年イスタンブールのトクカプ宮殿博物館で発見されたものを 2006 年、2013 年に海上保安庁がトルコ海軍関係者から複製品の提供を受けたもの
- ・ 当時の最新の地理的知識の見地で描かれている航海地図で、本来はインド洋を描いたもの（消失）と合わせて、1 対となる地図
- ・ 2006 年受領のものは、見易くデジタル処理されたもの
- ・ 2013 年受領のものは、原本を忠実に複製したもので今回初展示



2006年受領 見易くデジタル処理された図

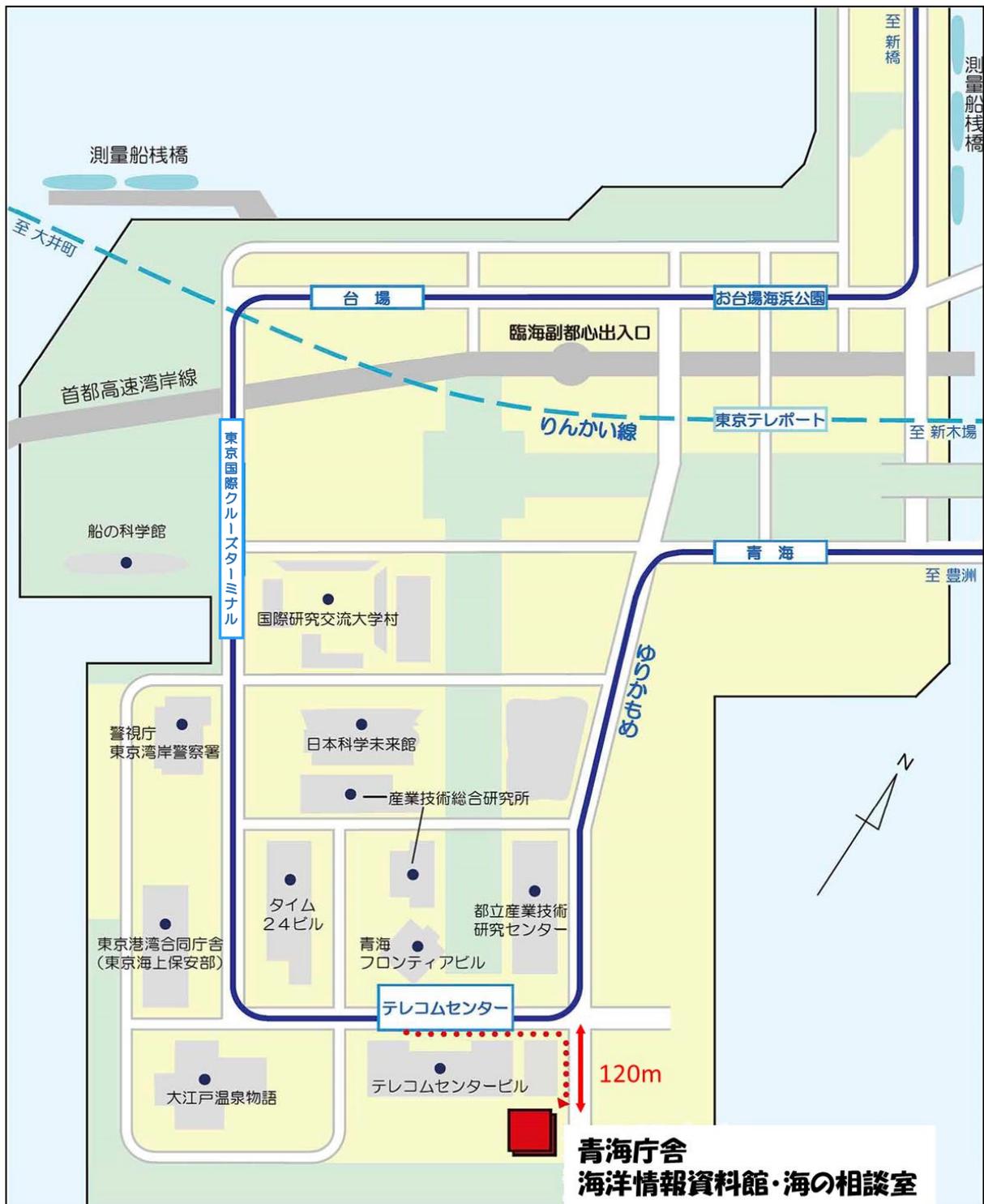


2013年受領 忠実に複製された図

③ 1856年ドイツで作製された世界地図（ERDKARTE）

- ・大きさは108×167cm（横長）、墨、青2色刷、銅版印刷
- ・ヨーロッパで作製された図でありながら日本が地図の中心に位置している
- ・経度の基準として、パリ、グリニッジ、大西洋のフェロー諸島の3つが用いられている
- ・日独友好にかかる取組みの一環として、平成31年3月、海上保安庁からドイツ連邦海運水路庁（ハンブルク）へ、本図の複製品を寄贈





海上保安庁海洋情報部

住所 東京都江東区青海2丁目5番18号 青海合同庁舎

交通 新交通ゆりかもめ「テレコムセンター」駅下車、徒歩約5分
 (テレコムセンタービル交差点から約120m)